

第2期甘楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）パブリックコメントに対するご意見の概要と町の考え方

番号	ご意見等の概要	町の考え方
1	<p>・国や他都道府県に対し、移住を強力に進めるルールを作るように提言してはどうか。</p> <p>・町としてターゲットを絞り、行うことが大切と思います。・・・とくに、長い間、深いつながりを作ってきた「北区（東京都）」や織田サミットでゆかりのある「名古屋市」に対し、移住を進めてはいかがでしょう。</p> <p>・移住の方法は、個別（1軒ずつ）に対応ももちろんいいのですが、あるエリア（例えば「組」等）をそのコミュニティをパッケージ毎受け入れることも大事ではないでしょうか。（独りぼっちを作らないために）</p>	<p>すでに国・県においても地方への個人の移住、企業の拠点移転を地方創生の柱として推進していますので、引き続き連携を図っていききたいと考えています。</p> <p>全国的に人口減少が懸念されている中、他自治体においても人口増対策に取り組まれているという実情があり、特定の地域に対するPRを実施することは困難ですので、引き続き移住・定住希望者を対象とした情報発信を図っていききたいと考えております。特に、北区については、甘楽ふるさと館やふるさと農園、スポーツ交流などを通じて交流人口の増加に努めてまいります。</p> <p>ご意見のとおり移住者の孤立を防ぐことは重要ですが、個人の希望にかなった移住の実現が大切と考えますので、特定のエリアを設けての移住施策の実施は考えておりません。地域においては、移住者を受け入れる気運を醸成していただきたいと考えております。</p>
2	<p>・小学校ごとの学童保育所設置を早急に検討・実現をお願いしたいです。理由については、学校の近くにあることが児童や保護者にとって負担が少ない、小学校の行事にすぐ対応できるなどたくさんあげられます。</p> <p>・「施策目標設定と検証」の中で計画→実施→評価→改善が大切とありますが、実施に対する評価・改善がおろそかになっていないでしょうか。気になっていることは、昨年度の60周年記念事業のことです。貴重な税金を使って行われた事業が適切なものであったか、一つ一つを評価→改善してほしいと思います。このような記念事業が、70年、80年…100年と繰り返されていくのであれば、その実施の是非を町民の意見を取り入れながら検討して行ってほしいものです。今年の新型コロナウイルスの対策のように不測の事態に直面することもあると考え、今後は慎重に予算を組んでほしいと思います。</p> <p>・今後の町の施設の老朽化や大型施設の維持管理費などへの莫大な支出にもどのように対応していくのか知りたいところです。「本当に必要なものにお金をかけていくこと」を考えていただきたいです。</p> <p>・第2期における新たな視点の中に「人材を育て育成する」とあります。施策を具体的に示してほしいです。「だれもが活躍できる地域社会をつくる」とありますが、決まった人材だけをあてにするのではなく、新入材を開拓してほしいです。</p> <p>「民間と協働する」は、現在民間に任せることが少なく町の協働体との連携が多いように思います。良い意味での競争がないので町に活気がないのではないのでしょうか。「新しい時代の流れを力にする」とありますが、新しい風を入れてこなかったのではないのでしょうか。以前から職員の研修が大切だといってきました。公の研修、自主的な研修、どちらも自分から求めていかないとよい結果に結びつかないと思います。</p> <p>・「空き家対策事業」に力を入れれば元気な町づくりにつながるのではないのでしょうか。なお、ホームページの空き家の情報が最新ではなく残念です。住む人が見つかった場合はその時点で削除してほしいと思います。</p>	<p>学童保育所については、第2期甘楽町子ども・子育て支援計画に基づき、小学校区単位で設置できるよう計画し、現在各校で実施する放課後子ども教室との連携を検討しながら2か所を増設する予定です。</p> <p>総合戦略の施策目標設定と検証については、創生会議（各界、組織代表の住民11人で構成）で事業の進捗状況の検証を毎年度実施し、目標達成に向けて見直しを図っております。また、60周年記念事業については、住民アンケートを実施し、幅広い層の皆様から頂いたご意見を踏まえて実施し、町民の皆様のご協力をいただき開催しました。今後につきましては、適切な評価と検証を行い、町民の皆様のご意見がより反映された事業を企画実施できるよう取り組んでまいります。</p> <p>町有施設の維持管理費等への対応につきましては、甘楽町公共施設等総合管理計画に基づき施設ごとの個別施設計画を作成し、施設の更新や統廃合、長寿命化を計画的に管理し、財政負担の軽減や維持補修費の平準化を目指しておりますので、計画に基づき適切な管理執行を行ってまいります。費用については、維持管理のための基金を創設して備えていききたいと考えております。</p> <p>人材育成については、現段階における具体的施策は決定しておりませんが、「地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援」するという国の新たな視点に基づき、多様化、複雑化する地域の課題の解決に向けて、自治体だけでなく住民、そして企業やNPOなど民間協働も視野に入れ、地域に関わる一人一人が地域の担い手として積極的に参画できるよう、町民が活躍できる環境づくりを積極的に進めることが重要と考えます。</p> <p>新しい時代の流れについては、国の総合戦略では、未来技術を各々の地域特性に応じて有効活用することで、地域の魅力を向上させるものと期待されております。町でも情報通信基盤、デジタル人材、データ活用基盤の整備などの課題を解決しつつ、新しい時代に対応していききたいと考えております。</p> <p>現在、町では空き家バンクに登録していただいた物件リストを町ホームページで公開し、物件の新規登録や売却となった際やその事実を確認できた際に、随時空き家バンクリストを削除し、更新を行っています。空き家バンクについては最新情報を公開していくとともに、空き家を有効活用できるよう今後も制度の周知に取り組んでいききたいと考えております。</p>
3	<p>「若者たちが、甘楽町を知り活力ある将来を展望できる会の発足を」</p> <p>若い世代の人たちが、わが町として住みやすい居心地の良い暮らしをするために、甘楽町を知り、やりたい事を形にする場や、共に支え合って成長する場、そして出会いの場としての集いの拠点が重要と考えます。そこで、若い人たちが中心となり、活力ある会を発足し、甘楽町を住民目線で盛り上げてほしいと願います。</p> <p>それには、先輩世代や町の後押しも必要です。また、他地域からでも甘楽町に興味を持つ方も参加募集し、いずれは定住促進もできればと、夢は膨らみます。</p> <p>そうは言っても、このコロナ禍では募集さえ難しい状況です。そこで、ZOOMなどでリモート会議や先輩有志の講演など、気軽に参加し、そこから広がりができればと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、若い世代の方たちが中心となり、町を住民目線で盛り上げていただく事は重要と考えております。若い世代やリーダーとなる方を中心に、町内外や官民にとらわれず幅広い層の意見を聞く場を作っていきたいと考えております。</p>